

長野高専後援会 長野支部だより

発行責任者

支部長 塩入 哲

編集 編集委員会

令和5年度

長野支部総会開催される



7月22日（土）午後2時からホテル信濃路において、令和5年度長野高専後援会長野支部総会が63名の会員の出席により開催されました。

総会では初めに、塩入哲支部長・関野愛副支部長の就任が承認され、小林雅樹庶務補を議長に選出し、令和4年度事業報告及び会計報告、令和5年度事業計画及び予算案が満場一致で可決されました。

続いて御来賓の江崎尚和校長・渡辺誠一副校長・

嶋崎太一先生から学校情報に関してパワーポイントの資料により御説明いただきました。

さらに特別講演として、長野高専卒業生の三ツ井梓沙氏による在学時代の学生生活のお話を楽ししくお聴きしました。

総会終了後は4年ぶりとなる懇親会が開催され、御来賓の3名様を含む50名が参加し、和やかな時間を愉しみました。

江崎尚和学校長の御挨拶



後援会の皆様には、日頃より長野高専の教育、運営に温かいご支援をいただいておりますことをこの場をお借りしてあらためてお礼を申し上げます。

7月13日に東京の八王子にあります高専の本部にて理事長とヒアリングがありまして、

学校の状況を説明するために

作った資料がありますので、それを使って今日はお話させていただこうと思います。

まず志願者倍率の年度推移ですが、非常に気になるのは、今年度入学した1年生の入試倍率が1.2倍で、過去を遡っても、かなり低い状況になっているのではないかと危惧しております。入学した女子学生は22%と前年よりは少し多かったです。平均しますと19%と、全国高専の平均である25%と比べるとより少ない状況です。

入学志願者は大半は長野県が占めているのですが、長野県以外にも新潟、富山、山梨、東京、千葉、埼玉、茨城、京都、大阪から来ています。

長野県内の令和5年度入試志願者数は北信112人、東信40人、中信53人、南信18人、入学者数は北信97人、東信31人、中信44人、南信16人で

した。

令和4年度推薦合格者の1年時学年末成績の分布を見てみると、推薦合格者が上位を占めています。令和4年度学力選抜入学生の5教科素点順位と学年末成績順位の関係では、ご覧いただくとおわかりの通りバラバラです。入試で成績が良かった子は入ってから成績が良いと思われましたが、全く相関関係がないというのが現状です。

平成30年度「電子情報工学科」の推薦入学者の成績の推移では、1年生から3年生までは推薦入学者が上位を占めていますが、4年生になると、就職先や進学先を決める上で成績が重要になってくるので、みんなが本気を出して勉強するため広がりが出てきます。5年生の成績は上位に推薦入学者がいますが下位にもいます。進路が決まり手を抜く生徒もいるのではないかと考えます。

オンキャンパスの国際化の状況、計画では、キャンパス内のグローバル化やe-Learningの取り組み、グローバルエンジニア基礎演習、短期長期留学生の受け入れなどを行っています。

令和4年度にはタイ、香港、台湾、ベトナム、シンガポールに10名の学年が派遣されました。2023年3月7日にカナダのアルバータ州エドモンド市州立北アルバータ工科大学と学術交流協定を締結し9月に本校の学生10名を派遣する予定です。今年は2年生全員が台湾へ行く予定です。

長野高専の特徴ですが、多くの企業がインターシップを受け入れてくださり、長野県内での就職が多いです。課題は女子学生が少ないことです。これに対しては来年度より信州大学工学部と交渉し女子学生の編入学の推薦枠を設置することができました。あと昨年度より女子中高生理系進路選択支援事業に申請しました。

長野高専が取り組む事業として、高度設備の共同利用拠点の整備、スタートアップ教育環境整備事業、GEAR5.0(介護・医工分野)拠点校・熊本高専、グローバル人材育成事業、タイプレミアムコース支援事業幹事校があります。

理事長ヒアリングでは、長野高専は様々な取り組みがしっかり行われているとのことのお言葉をいただきましたことを最後に報告させていただきます。



学生の生活状況 本科生・専攻科生の 進路状況

渡辺誠一副校長
(学生主事)

今年度より学生主事をさせていただいている渡辺です。本校卒業生で、学科改組の設計等にも携わっており、最近ドキドキしながら学生の成長を見守っているところになります。よろしくお祈りします。

後援会の皆様におかれましては、日頃から多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本日は学生支援関係及び進路状況についてご報告いたします。

1. 学生の様子(学生支援委員会関連)

4月に入ってから、様々な行事が対面で開催できるようになってきました。

①1年生のガイダンス等・・・新入生ガイダンス(4/6(木))、新入生歓迎会(4/12(水))を実施し、担任の先生との交流をはじめ、学生生活をすするうえで気を付けてほしいこと、学生会活動、工嶺祭、課外活動の紹介をしました。

保健体育の内容を一部変え、アウトドア系の授業であるウェルネス・アウトドア(4/12(水))を実施して、テントを組み立ててのキャンプや、火おこし等を体験してもらいました。

②交通安全・SNS講習会・・・4/5(水)始業式に自転車通学をする際にはヘルメット着用、ツーロックをお願いしました。また4/21(金)1・2年生に対して交通安全講習会とSNS講習会を実施しました。SNS講習会では、人のことを想い情報を発信することなどを伝えました。

③クラスマッチ・・・5/16(火)に10競技(バレーボール、卓球、ドッチビー、テニス、ソフトボール、サッカー、クイズ、e-sports、借り物競争、ハの字跳び)を実施しました。

総合結果 優勝：環境都市工学科5年

2位：専攻科 3位：電子制御工学科4年

④学生会企画

- 七夕企画 7/10(月)～14(金)
- かき氷企画 8/8(火)
- 全国高専大会壮行会 8/9(水)

⑤自転車利用時のヘルメット着用について

4月から自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化されました。着用している生徒も増えてきましたが、改めて着用をお願いできればと思います。交通ルールを守って安全な通学をお願いします。

⑥SNS利用について

コロナ禍以降、学生同士が対面でコミュニケーションを取る機会が減り、SNSが多く活用されています。SNS上でのやりとりがエキサイトしてくると、ちょっとした書き込みで相手を傷つけてしまうといったトラブルが心配されます。

5/23に全学生に向け、「SNS等を通じて情報を発信する際には自己責任が伴うこと」及び「誰かを傷つけるかもしれないと少しでも思った場合は投稿をしない」よう、指導を実施しました。

⑦課外活動における学生の活躍

後援会の皆様にご援助いただき、全国大会等上位大会に参加できていることに感謝しております。

- ・県高校総体北信大会・・・空手道、陸上競技、軟式庭球、硬式テニス、水泳で県大会進出決定
- ・県高校総体・・・陸上競技で5種目入賞、北信越大会(富山)進出決定
- ・囲碁将棋部・・・第53回全国高等学校将棋選手権大会 個人戦A級優勝、全国大会出場決定
- ・サイバーセキュリティ同好会・・・6/19(月)長野県警からサイバーボランティアに委嘱される
- ・地区高専体育大会・・・陸上競技、水泳、女子バスケットボール、硬式テニス、軟式庭球、卓球、バドミントン、剣道、弓道(計9団体)が全国大会出場決定

⑧今後行われる主な行事

- ・前期期末達成度試験
7月31日(月)～8月3日(木)4日間
- ・実務訓練(4年生)・・・夏季休業期間中に実施

- ・全国高専大会 8月中旬～9月上旬
- ・工嶺祭一般公開・保護者面談
10月21日(土)・22日(日)
- ・2年生研修旅行(台湾11月7日(火)～10日(金))
- ・3・4年生企業現場見学・・・3年生:11月9・10日(日帰り2日)、4年生:11月8日～10日
- ・後期期末達成度試験
11月28日(火)～30日(木)3日間
- ・学年末期末達成度試験
2月5日(月)～8日(木)4日間
- ・卒業証書授与式
3月19日(火)ホクト文化ホール中ホール

2. 本科生及び専攻科生の進路状況(進路支援室関連)

本年度の本科5年生及び専攻科2年生は進路に向かって挑戦しています。(6月末時点)

- 本科・・・就職希望者75名(42.1%)、進学希望者102名(57.3%)、その他1名(0.6%)です。
- 専攻科・・・就職希望者17名(70.8%)、進学希望者7名(29.2%)です。

昨年度同月と比べると、決定率は10%程度高い状況となっています。

3. 保護者の皆様へのごお願い

「アフターコロナ」に入り、人と人とのつながりが増えてきましたが、うまくコミュニケーションが取れないなどの声も聞かれます。コミュニケーション能力を磨くためにも、課外活動やボランティア活動、地域活動などに参加して、多くの人と接点を持つ機会が増えるようご配慮ください。また、時々お子様に「最近どう？」などと話しかけていただければ幸いです。

10月21日(土)・22日(日)に工嶺祭一般公開を実施します。駐車場があまり確保できていないことから、保護者の方におかれましては可能な限り公共交通機関を利用してご来校いただきますようご協力をお願いします。

最後になりますが、お困りのことがございましたら学級担任、学生相談室などにご連絡ください。



学校報告 教務関係

嶋崎太一先生
(教務主事補)

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。教務関係につきまして、以下の通りご報告させていただきます。

学校運営についてですが、令和2年度、コロナ感染予防で多くの行事が中止に、令和3年度で安全を確認しながらできる限り「対面で授業を実施」、令和4年度は、例年に近づけながら行事を実施。令和5年度はようやく例年通りに計画して実施予定です。

学校行事実施状況

- ・入学式（4/5）新入生・保護者・来賓・教職員が出席し、体育館で実施
- ・始業式（4/5）学生はホームルームでオンライン配信の視聴
- ・実力テスト（4/6）2・3年生 数学・英語（TOEIC Bridge）4年生 TOEIC IP
- ・1・3年生特別研修（4/21）バスも利用しながら学内、学外（長野市周辺）で研修
- ・前期授業公開 4/26～28、5/1～2 5日間の参加者合計175名
- ・クラスマッチ 5/16 例年の種目に新種目を加えて実施 サッカー・ソフトボール・硬式テニス・バレーボール・卓球・ドッチビー・eスポーツ・クッパ
- ・前期中間達成度試験 6/5～7
- ・夏のオープンキャンパス（体験入学）7/8（土）
- ・校内学習塾 上級生（4・5年、専攻科）のTAが下級生（1・2年）の学習指導を担当

学校行事実施予定

- ・前期期末達成度試験 7/31～8/3
- ・実務訓練（4年生・夏季休業期間）
- ・工嶺祭 一般公開日を中心に保護者懇談会も実施
- ・秋のキャンパスツアー（学校説明と授業見学）後期授業公開期間中、中学生とその保護者を対象に実施
- ・海外研修旅行（2年生11/7～10）台湾を予定
- ・企業現場見学（3年生11/9、10・4年生11/8～10）長野県内外の企業を見学
- ・1年生と5年生の交流会（11月）卒業研究の様子や専門分野の内容を聞く
- ・後期中間達成度試験11/28～30
- ・学年末達成度試験2/5～8
- ・終業式・学生総会 2/22（木）
- ・卒業証書・終了証書授与式 3/19（火）午後 ホクト文化ホール

新型コロナウイルスへの対応

- ・新型コロナウイルス感染症罹患による欠席に限り、医療機関の証明は不要とし、保護者等の証明によって公欠を認めることにします
- ・マスク着用・手指消毒等の感染対策は体調や気温なども考慮し個人の判断で行ってください
- ・感染症が原因でない体調不良欠席の場合は公欠となりませんが、コロナに限らず体調不良の際には無理に登校しないでください。可能な範囲でのリモート対応等、修学上の配慮を行います
- ・学校からの連絡で「さくら連絡網」の利用をすすめています

長野高専の学科再編（令和4年度入学生※現2年生より）

- ・5学科をひとつの学科（工学科）に再編。2年時に、情報エレクトロニクス系・機械ロボティクス系・都市デザイン系から主専攻を選択
- ・1年生でのものづくり基礎工学・ものづくり基礎実験 情報、電気電子、機械、土木の基礎知識 3つの系の授業を全員が受講し、各分野への理解を深め、自分の将来を見据えた選択を行うことができます。系への配属は、入学後の成績、複数回の主専攻選択希望調査と面談に基づいて行います。令和5年度2年生系配属状況 情報エレクトロニクス（IE）系76名 機械ロボティクス系（MR）系85名 都市デザイ

ン（CE）系45名 IEとMRは全員が希望通り配属、CEから4名が第2希望へ移動

リベラルアーツ教育院による教養教育では「生きる力」を身につける実践的教養教育を行います。

- ・1年次においては少人数短期ゼミ（ZUKUDASEゼミ）によって自発的な学習を促します。
- ・グローバルエンジニア育成プログラム ネイティブ教員による少人数英会話演習、海外研修（いずれも2年生）
- ・長野学（4、5年生選択科目）長野の歴史や文化に関する講義、ウインタースポーツ等開講

国際交流センターでは、国際的に活躍する人材の育成を目指しています。

- ・留学生在学
- ・海外研修（全学年対象）今年度再開
- ・インターネット交流（全学年対象）コロナ禍の国際交流（2020年度開始）
- ・留学生ホームステイ
- ・国際寮での国際交流イベント



特別講演

「高専での生活」

**三ツ井梓沙氏
（長野高専OB）**

講師紹介（塩入支部長）

東北中学校卒業後、長野高専52期生として入学、環境都市工学科で学ぶ。学生生活として弓道部、英語同好会、国際交流同好会で活躍。5年間学んだ後、生産環境システム専攻科に進む。卒業後は長野市内の建設コンサルタント会社に就職し、社会人2年目。

長野市鶴賀の環境都市設計株式会社に就職しました。会社は建設系で、昨年創業30年を迎えた、わりと新しい会社です。建設コンサルタントといっても何の仕事をしているかと思うかもしれませんが、道路だったり河川の護岸、土砂災害から身を守る砂防堰堤（小さなダムのようなもの）など社会資本に関する調査、設計、維持管理などをはじめとするコンサルタント業務を行っています。主な仕事相手は県や市、国になります。

出身は東京都ですが、育ちは長野市なので小学校からずっと長野にいます。趣味は映画や舞台鑑賞したり、旅行にたくさん行っています。季節の花を見に行くことが一番好きなので、最近では、アジサイが咲いているので、飯山のほうに見に行ったり、長期休暇を取って山梨のほうにネモフィラを見に行ったりしながら休日を過ごしています。

先ほどもご丁寧にご紹介いただきましたが、簡単に経歴をまとめてきました。出身中学は長野市立東北中学校です。長野高専から一番近い中学校で、毎年10人程度が長野高専に入学しています。私も長野高専に合格して、当時は工学科にまとめられていなかったの、環境都市工学

科に入学しました。環境都市工学科は、インフラなどの社会基盤の整備、土砂災害など自然との共生のために必要なことを学ぶ学科です。専門科目は測量や水の力学＝水理学などになります。環境都市工学科は女子に人気が高い学科で、私のふたつ下の学年だと、半分くらいの割合で女子生徒がいる学科です。工学科に再編されて、今の3年生が環境都市工学科としては最後になります。再編後は都市デザイン系に引き継がれます。5年間本科で学習した後、進学先としても長野高専の専攻科を選びました。生産環境システム専攻です。5年間本科で勉強したあと、プラス2年専攻科で専門性がより高い内容だったり、分野にとらわれない、ほかの学科のことも学ぶような感じで、知識の習得をしました。本科は5年生で研究が始まりますが、だいたい1年で終わります。専攻科では継続してさらに、私の場合は2年間でしたが、カンボジアの環境調査とか、水についての研究を、プラス2年間、計3年間させていただいて、とても充実した学生生活でした。結果として7年間、高専に通いました。昨年4月に環境都市設計という学科と同じ名前の会社に就職し、現在技術部に所属して、技術についてコンサルティングをやっています。

今回講演のお話をいただいて、私は専攻科にもいっているのですが、本科の5年間中心でお話しさせていただきたいと思います。学科が再編されて工学科になったことでカリキュラムが大きく変わっていたり、先ほど渡辺先生のお話を伺って、やっている行事もかなり違って、びっくりするくらいギャップがあったので、行事というより、高専生活が有意義になるような、充実するためにどうすればいいかを話したいと思います。私はもう卒業しているのですが、学生のころからと社会人になってからの両方から、実体験に基づいてお話したいと思います。

全部で4つあります。1つ目は「とりあえず頑張ってみる」。2つ目は「好きを見つける」。3つ目は「先をイメージする」。4つ目は「友人を作る」です。

1つ目の「とりあえず頑張る」ですが、頑張ることは好きなことを見つけるきっかけになることを、高専生活で学びました。私は中学生のころから工作とかが好きで、やりたい職業があるか

ら環境都市工学科に入学したというよりは、もの作りが好きで「なんとなく工学かな」という感じで高専に入りました。1年から専門分野の勉強が始まり、「難しいな」「とっつきにくいな」という印象を受けたことを覚えています。そこで「難しいな」で終わらせずに、とりあえず頑張ってみようという軽い気持ちで続けていくことで、少しずつ勉強が得意になっていって、だんだん楽しめるようになって、そういうステップを踏んで「好き」につながって行って、仕事にしたいなと思って、現在この仕事をしております。一般的には普通の高校に入った場合、高校を卒業してから専門分野に進むことがほとんどだと思いますが、高専の場合1年生の段階で、自分がものづくりの仕事に就くことが決まっていたり、私の場合は工学科ではなく1年から環境都市工学科だったので、16歳ぐらいで将来の方向が決まるという特殊なところがあります。入学してから将来のことだったり、本当にこの道でいいのか迷う人が多い印象がありますし、私自身もほかの仕事に興味がいったり、迷ったこともあります。私は実家にいたので、母とコミュニケーションをとることも多かったのですが、迷っていることを話したときに、「やめることはいつでもできるので、とりあえずやってみたら？」と言われて、やってみて仕事にするほど勉強が好きになったので、とりあえず頑張ってみることは大事だと思います。

2つ目の「好きを見つける」ですが、これは学生時代というより社会人になってから実感したことです。高専は5年間ありますが、一番メリットと言っているのが、就職する場合は大学受験が必要ないということです。高校と比べて、部活動とか課外活動に取り組む時間が長くなります。私は弓道部に所属していましたが、5年生の夏まで大会に出していただいて、現役の時間がすごく長かったです。高専は普通高校と違い兼部もできるので、弓道部だけでなく、国際交流同好会とか英語同好会に所属して、好きを培うために資格取得したり、ベトナムのダナン工科大学に研修に行ったりしました。それだけ課外活動していても、まだ時間がたっぷりあったので、友達と趣味の映画鑑賞をしたり、アルバイトをしてお金を貯めて旅行に行ったり、研修旅行も自分でお金を貯めて行ったりして、趣味が結構

増えたのが、高専に入学してよかったところです。当時は意識していなかったけど、社会人になると仕事一筋になって、仕事が頭の大半を占めている時間が多いことに気付いて、リラックスしたり、ストレス解消して、長く仕事を続けるためにも、趣味を持っておくことは大事で、高専生活で好きを見つけるといのは、重要だと思います。

3つ目は「先をイメージする」です。高専では、早めに将来をイメージしておくことで、悔いのない進路選択につながると思います。本科では4年生の夏にインターンシップがあって、就職活動が動き出します。早い人だと12月とか1月に内定が出るほど、結構早く進みます。進学だと5年生の夏ごろになるので、それに向けて勉強を進めることになりましたが、大体の人が、進学も就職も、4年生になってから考え出す人が多い印象でした。4年生から準備を始めて、間に合えばいいのですが、特に進学の場合は、成績が良くないと推薦が受けられないとか、試験の場合も対策が必要なので、余裕を持った進路選択をすることが重要なのではないかと思います。就職も高専の場合は、就職先も技術系で高専からの採用歴があることがほとんどなので、先生や先輩から会社について聞いたり、ネットで調べたりインターンシップに行ったり、自分で調べる時間を長くとることが重要だと思います。高専生活5年と聞くと、入学したときは長いと感じ、ゆっくりスタートしてしまいがちですが、そのせいでスタートダッシュが遅れてしまう人が多くいる印象でした。私の場合は、入学した時から進学することを決めていて、どちらかといえば迷いがない側の人間でしたが、どこに進学するかは決めかねていて、迷っているうちに期限が迫ってきて焦った記憶があります。私自身は本科から専攻科に進学し、専攻科から就職したので、比較的余裕をもって、後悔することのない進路を選択することができたと思います。

4つ目の「友人を作る」という、すごく当たり前のことなのですが、普通の学校だったら友達がいなは寂しいだけかもしれませんが、高専の場合だと友人はかなり大事だと思います。なぜかという、高専は過去問題とか、過去レポートで対策を練ったり、過去の傾向を探ったりすることが多いので、友人がいないと手に入れることが難しくなります。縦のつながりを作ることで、レポートだけではなく、進路相談もでき

るので、やはり大切だと思います。余談ですが、学生時代にアルバイトをしていたピザ屋の店長の息子さんが高専に入学し、店長から「レポートをもらえないか」と相談を受けたので、親にも見せたことのないテストを持って行ったことを覚えています。アルバイトの女の子にお願いするくらい、過去問題や過去レポートは大切なんだと思います（笑）。あと高専時代にできた友人というのは、テスト勉強とかレポートだけでなく、部活動でも長い時間一緒にいることが多く、長い人では5年間支えあった友人なので、社会人になっても気兼ねなく相談したりできる仲です。高専の場合は同じ職種に就職する人も多いので、プライベートの話だけではなく、仕事の相談もできるのではないかと思います。

以上が高専生活を有意義に過ごすうえで大事だと思ったことです。学校生活は特に、高学年になるほど勉強が忙しくなり、多いときだと試験中の4日間で13科目を受けなければいけなかったり、大変目まぐるしく、アルバイトとか部活動との両立が難しかったことを覚えています。部活だったり工嶺祭の実行委員をやったり、海外研修などいろんなことに挑戦して、普通の高校ではできないような体験をすることが、高専に入った一番のメリットになるので、ぜひやっていただきたいと思います。



懇親会開催



総会終了後、会場を「穂高」から「浅間」に移し、総会後は4年ぶりとなる懇親会が開催されました。

塩入支部長の挨拶に続き、江崎校長先生のご挨拶、乾杯のご発声により開宴しました。

お料理も飲み物も十分頂きました。(ホテル信濃路さんに感謝)



令和5年度役員



綿貫由香
会計補

木村佐知子
会計

塩入哲
支部長

関野愛
副支部長

伊東誓敏
庶務

小林雅樹
庶務補

さて、紙数を気にせず掲載できることはとても大きなメリットでして、本来であれば写真も満載といきたいところですが、この日のために新調した32GBのSDカードを、『石橋を叩いて他人に渡らせるのを見てから渡る』気の弱さからカメラから外して家のPCで試したものの、そのままカメラへ戻さず当日14:00を迎えてしまい、スマホでの写真撮影となってしまいました。

(SDカードはホテル信濃路では販売しておらず、校長先生のお話の途中7-11へダッシュしてゲットしたもののマイカメラに対応せず。)

ビジュアルの乏しさはお目こぼしてください。

長野支部には県外出身学生のご家庭も会員となっております。当日は、お子に内緒で参加され、そのままお帰りになる親御さん(首都圏在住:有志二次会にも参加)がおられました。学校の情報をお聴きし、親同士が親睦を深め、長野高専を支援する…支部の大行事としては、次回は2月開催予定の学年別懇談会ですが、是非とも多くの会員の皆様が集うことを楽しみにしております。(懇親会もね)

編集後記

本号からHP掲載となりました。ペーパーレスの時勢に合った取組ですね。印刷事業者さんや日本郵政さんには気の毒な渡世だなあという思いもありますが、これもご時世というものでしょうか。📌

編集委員長	長野 将
編集委員	大日方 豊子 山岸 直樹 徳武 靖恵 早川 和利